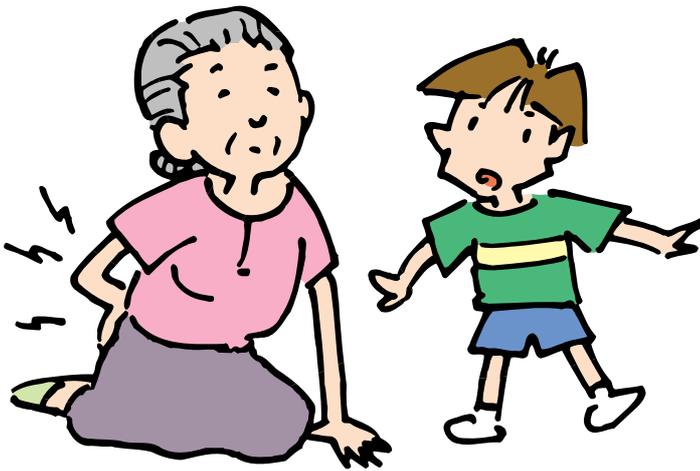


MEDICAL NEWS

キックマン メディカル ニュース

No.
25

ホームページアドレス ▶ <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>



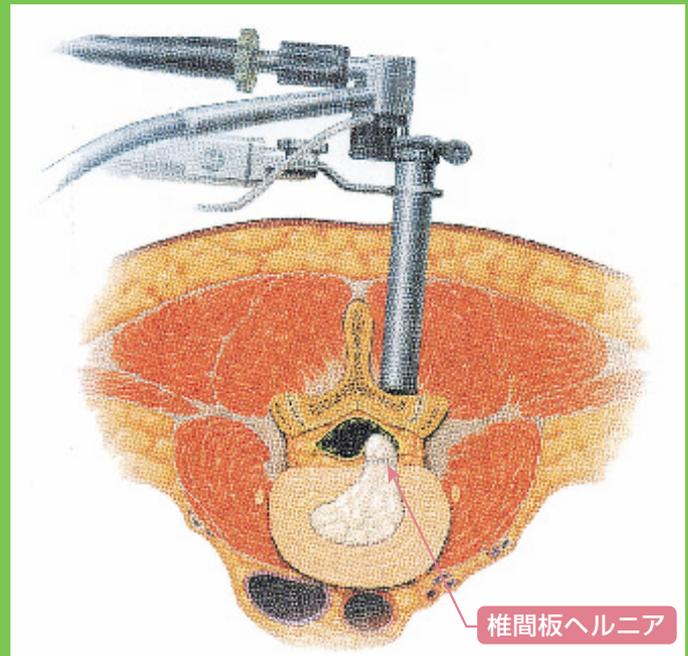
整形外科で多くの方に見られる症状として、腰痛・坐骨神経痛があります。腰椎の様々な異常が原因となりますが、その中でも腰椎椎間板ヘルニアは世間でよく知られている疾患です。



二本足で立つ人間にとって脊椎にはかなりの負荷がかかり、特に下位腰椎ではすでに20代から椎間板の変性が始まっています。椎間板の変性は腰痛の原因となり、いわゆる「ぎっくり腰」も起こりやすくなります。

椎間板の周囲を構成する線維輪の変性が進み、その亀裂が大きくなると椎間板内部の髄核が突出してきます。線維輪の皮を被ったものや、そこから飛び出してしまったものなど形は様々ですが、これらが椎間板ヘルニアです。それ

内視鏡下椎間板切除術の模式図



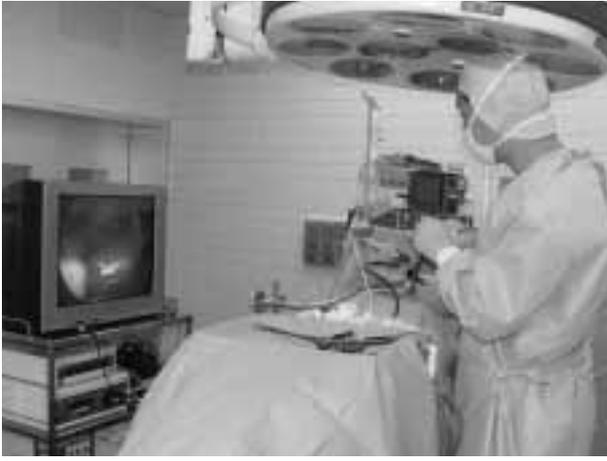
背中側から腰椎に接するまで直径18mmの筒を挿入したところ。この筒の中に内視鏡と特殊な手術器具を挿入して手術を行います。

によって神経が圧迫されると坐骨神経痛が起り、下肢の痛み・しびれ・感覚低下・筋力低下などの症状が現れます。

治療は局所安静、投薬、理学療法(牽引・電気治療)などから始めますが、症状が強い場合はブロック療法(硬膜外ブロック・神経根ブロック)を行います。神経の圧迫が軽度の場合はこれらの治療で対処できるのですが、それでも軽快しない場合、麻痺症状の見られる場合、早期の社会復帰を必要とする場合には手術が必要となります。

手術は5〜10分の切開により筋肉を剥離し、骨の一部を削ってヘルニアを直接見ながら摘出するという方法が一般的です。侵襲の少ない治療法として、

大きく切開しない経皮的な手術もあります。薬剤で髄核を溶かす方法、細い特殊な器械で髄核を摘出する方法、最近ではレーザーによって髄核を焼灼する方法もあります。これらは局所麻酔で出来る手術として期待されましたが、ヘルニアを摘出するのではなく椎間板内圧を減少させて間接的に神経の圧迫を軽減させるため手術適応は狭く、従来の手術より治療効果が優



TVモニターで確認しながら内視鏡を操作します。

れているという結果は得られています。さらに骨の変形などを合併している場合は、従来の手術が必要となります。

従来の手術と同様に治療効果があり、さらに侵襲の少ない手術法として、1996年に内視鏡下椎間板切除術が開発され、国内にも1998年秋より導入されました。直径18ミリの筒を挿入して筋肉へのダメージを少なくし、従来の手術同様、全身麻酔下に確実にヘルニアを摘出する手術です。内視鏡を使い、テレビモニターで拡大した画像を見ながら行います。

当院でも2003年7月からこの内視鏡下手術を導入し、2004年12月までに21例の手術を行っています。従来の手術と比べ、

- 1 手術創が小さい(2〜3センチ)
 - 2 術後の痛みが少ない
 - 3 手術翌日から歩行可能
 - 4 入院期間の短縮(手術後4日〜7日)
 - 5 コルセット装着期間の短縮(約1ヶ月)
- などの利点があります。
- 今後は脊柱管狭窄症など骨の変形が強い症例でも、この内視鏡下手術を積極的に取り入れていこうと考えています。

院長コラム

「食べて健康—新しい日本型食生活のすすめ」

キッコマン総合病院 院長 久保田 芳郎

高齢化社会を迎えつつあるわが国において多くの人々の最大の関心は、いつまでも若く元気で、という健康指向です。これからはひとりひとりが自分の責任において健康を管理していくことが大切です。あるアンケート調査によれば「健康に関心がある」との回答は89%にのぼり、現代の日本人にとって「健康」は大きな関心事であることがわかります。しかし「健康に自信がある」との回答は42%に留まっており、健康に関心はあるが自信がもてないという現代人像が浮き彫りになっています。

健康は日頃のライフスタイルから生まれます。近年、がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病が急激に増加しています。生活習慣病が増えているのはライフスタイルの変化、とりわけ「食」の変化が最も重要な要因です。健康に番よい食事は伝統的な日本の食事です。温暖な気候、適度な湿度、そして豊かな水に恵まれた日本で育まれた和食は、海の幸、山の幸と出会い、この国ならではの食文化をつくりあげてきました。動物性脂肪が少なく、魚や大豆、野菜などが豊富な日本食。健康食たるこの食事が日本を世界一の長寿国にしたのです。

1977年、アメリカ上院、栄養問題特別委員会は2年間の審議期間と巨額の調査費用をかけて、いわゆる「マクガ

パンレポート」を報告しました。同委員会が設けられた理由は「アメリカの最新の医学と、莫大な医療費をつぎこんでも現代病が増え続けるのはなぜか。根本的な対策を立てないとアメリカは滅んでしまう」という危機感からです。報告書では、アメリカ人が動物性食品や脂肪を過剰に摂取していることに加え、摂取脂肪の構成比が、動物性脂肪が植物性脂肪に比べて多すぎることで、砂糖の摂取が多すぎることで、明記されました。加えて、食品の過度の加工によるミネラルやビタミン量の低下、食物繊維摂取の不足などの問題も指摘されています。そして「世界の食生活の中で、最も健康に良い食事は日本食である」と結ばれています。それまで病気は医療で治すものという考えに偏っていたアメリカで、病気の予防や治療にはその原因となる間違った食生活を改める必要があるという公式な発表が行われたのです。

そして今、「食育」が叫ばれています。私たちの心や健康をささえている食生活の大切さを教える「食育」。「食育」が必要なのは子供達ばかりではありません。我々中高年の世代こそ健康であるための「食育」が必要です。食を通じて健康寿命をのばすこと、そしていつまでも若く元気でいるためにも二度「食」を見直しましょう。

常勤外来 担当医師 紹介



院長(外科)
くほた よしろう
久保田 芳郎

専門分野 消化器外科、大腸肛門外科

東京大学1974年卒業
(医局:東京大学第一外科)

医学博士、日本大腸肛門病学会評議員・
専門医、日本消化器病学会関東支部
会評議員、日本外科学会認定医、日本
消化器外科学会指導医・専門医、日本
消化器病学会指導医・専門医、日本医
師会認定健康スポーツ医、日本医師
会認定産業医、日本人間ドック学会評
議員



副院長・内科部長
みかみ しげ
三上 繁

専門分野 消化器内科、肝胆膵内科

千葉大学1986年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本胆道学会評議員、日本消化器
病学会関東支部会評議員、日本内科学会認
定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日
本肝臓学会専門医、日本超音波医学会指導医・
専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門
医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本医
師会認定産業医、日本感染症学会認定ICD(感
染制御医師)、日本人間ドック学会指定医



産婦人科部長
かわぐち たけひろ
川口 武宏

専門分野 産婦人科学一般

東京大学1970年卒業
(医局:東京大学産婦人科)

医学博士、日本産婦人科学会認定医、
優生保護医



小児科部長
あくた なおこ
芥 直子

専門分野 小児科一般
小児血液腫瘍学
小児リウマチ学

愛媛大学1985年卒業
(医局:東京大学小児科)

医学博士、日本小児科学会専門医



外科部長
かわぐち よねえ
川口 米栄

専門分野 消化器外科、内視鏡外科、
呼吸器外科

東京大学1987年卒業
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会専門医・認定医、日本消
化器外科学会認定医、マンモグラフィ
ー検診精度管理中央委員会読影認定医



整形外科部長
おかだ ほじめ
岡田 基

専門分野 関節外科、脊椎外科

筑波大学1989年卒業
(医局:筑波大学整形外科)

日本体育協会認定スポーツ医、日本
医師会認定産業医、日本脊椎脊髄病
学会会員



消化器内科部長
あきもと まさひで
秋本 政秀

専門分野 消化器内科、肝胆膵内科

千葉大学1990年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

日本消化器病学会専門医



外科医長
こうせつ しんいちろう
瀬瀬 真一郎

専門分野 大腸肛門外科

東京大学1995年卒業
(医局:東京大学第一外科)

医学博士、日本外科学会認定医



内科
しみず しろう
清水 史郎

専門分野 消化器内科

富山医科薬科大学1995年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士



産婦人科
みずの よしお
水野 嘉朗

専門分野 産婦人科一般

日本医科大学1997年卒業
(医局:東京大学産婦人科)

日本産婦人科学会産婦人科専門医



整形外科
わだ ひろし
和田 大志

金沢大学1999年卒業
(医局:筑波大学整形外科)



外科
やぎ こういち
八木 浩一

東京大学2001年卒業
(医局:東京大学第一外科)



内科
たなか たけし
田中 健史

兵庫医科大学2002年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

診療担当表

●受付時間 午前8時～11時、午後1時～3時(小児科のみ診察は2時30分より)

平成17年2月1日現在

診療科		診療案内	月	火	水	木	金	土
内科	午前	消化器	三上	清水	秋本	清水	三上/田中	秋本
		生活習慣病		麻生				
		循環器						村田
		呼吸器	甲斐			武田		
		腎臓						太田
	午後	消化器			田中		清水	
		呼吸器	甲斐			武田		
外科	午前	総合・消化器	久保田	瀬瀬	川口(米)	川口(米)	久保田	川口(米)
			瀬瀬	八木			瀬瀬	八木
産婦人科	午前	総合	川口(武)	水野	川口(武)	東大医師	水野	川口(武)
	午後	総合	水野		川口(武)		水野	
小児科	午前	総合	芥	芥	芥	康	芥	芥
	午後	総合	芥	芥	芥	赤木/阿波	芥	芥
整形外科	午前	総合	落合	岡田	野内	尾登	岡田	岡田
			岡田/和田	和田		和田	和田	和田
耳鼻科	午前	総合		森	久松	久松		中山/飯野
	午後	総合		森	久松	久松		中山/飯野
眼科	午前	総合		御宮知	池田	大平		吉井
皮膚科	午後	総合			医科歯科大 医 大 師		医科歯科大 医 大 師	
泌尿器科	午後	総合			根岸	根岸		
脳神経外科	午後							東大医師

●全科で予約診療を実施しています。電話での予約受付時間は午後2時より4時まで。

専用電話番号

04-7123-5932 (内科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科)

04-7123-5919 (外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・脳神経外科)

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。

※休診等で変更になる場合がございます。ご了承ください。

循環器・消化器病検査担当表

平成17年2月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃内視鏡	午前	川口/八木	三上/田中	清水/田中	額額/八木	秋 本	三 上
腹部超音波	午前	秋本/田中	秋 本		三上/田中		三上/清水/田中
乳腺・甲状腺超音波	午前			額額/八木		川口/八木	
胃・大腸X線検査	午前	田 中	八 木	清水/田中	額額/八木	清 水	
大腸内視鏡	午後	三上/秋本/清水	久保田/額額/八木	秋本/清水	川口/額額/八木	三上/秋本/田中	

専門外来・特別診療のお知らせ

(詳しくは各外来にお尋ね下さい。)

●内 科	運動療法科(木曜日午後)	●整形外科	装具外来(火曜日午前)
●産婦人科	母親学級(第2・第4木曜日午後)	●泌尿器科	男性不妊外来(水曜日午後)
●小児科	内分泌(第2水・第1金曜午後) 腎臓(第3水曜午後) 神経(第3土曜午前) 循環器(第2土曜午前)		
●整形外科	特別診療(毎週月曜日午前 担当:筑波大学整形外科 落合 直之教授)		

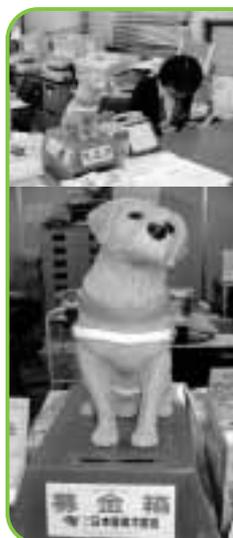
お知らせコーナー

2005年キッコーマン総合病院カレンダー

※ は祝日

1 January	2 February	3 March	4 April	5 May	6 June
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23/30 24/31 25 26 27 28 29	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24/31 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24/31 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23/30 24/31 25 26 27 28 29	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●一斉休日 10月22日(土)、10月29日(土)



ご来院の皆様にご案内 犬の募金箱

来院された皆様の目に留まったでしょうか。現在、受付と会計に日本盲導犬協会のかわいい犬の募金箱が設置されています。今回、皆様から募金箱にあたたかいご寄付をお寄せいただき、5,180円を日本盲導犬協会に寄付させていただく事が出来ました。誠にありがとうございました。又、昨年6月迄設置していた国連薬物乱用根絶募金には皆様のご寄付3,734円を寄付させていただきました。重ねて心より厚く御礼申し上げます。

現在も箱が設置されておりますが使用済み切手・テレホンカード等の寄付についてはキッコーマン(株) 本社を通じNPO団体に寄付されており、世界の子供達の予防接種や地球温暖化防止の植林事業に使用さ



れております。多くの皆様のご家庭の使用済み切手等を集めて持参していただいております。心より感謝致しております。書面にてご報告すると共に厚く御礼申し上げます。

医事課 宮本

おもな非常勤外来担当医師紹介



整形外科
(月曜日午前)
おちあい なおゆき
落合 直之

専門分野 上肢機能外科

東京大学1973年卒
(医局:筑波大学整形外科)

医学博士、筑波大学整形外科教授、日本整形外科学会認定医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本整形外科学会評議員、日本手の外科学会評議員、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本肘関節研究会理事



整形外科
(水曜日午前)
やない たかじ
野内 隆治

専門分野 整形外科一般

信州大学1996年卒業
(医局:筑波大学整形外科)

日本整形外科学会専門医



リウマチ科
(木曜日午前)
おのほり まこと
尾登 誠

専門分野 リウマチ関節疾患
骨軟部腫瘍

筑波大学1987年卒業

日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会認定医、日本リウマチ財団登録医



内科
(月曜日午前・午後)
かい よしろう
甲斐 吉郎

専門分野 呼吸器疾患

奈良県立医科大学1998年卒業
(医局:奈良県立医科大学
呼吸器感染症血液内科)

日本内科学会認定医



生活習慣病
(火曜日午前)
あそ よしまさ
麻生 好正

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

群馬大学1987年卒業
(医局:獨協医科大学一般内科)

医学博士、獨協医科大学内科助教授、日本糖尿病学会指導医・専門医、日本内分泌学会評議員・専門医、日本内科学会専門医



内科
(木曜日午前・午後)
たけだ まさゆき
武田 真幸

専門分野 呼吸器腫瘍

奈良県立医科大学2001年卒業
(医局:奈良県立医科大学
呼吸器感染症血液内科)



循環器内科部長
(土曜日午前)
むらた ひろし
村田 博

専門分野 循環器内科

東京大学1994年卒業
(医局:東京大学循環器科)

日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医・専門医、日本医師会認定産業医



内科
(土曜日午前)
おあた よしあき
太田 義章

専門分野 腎臓内科・脂質代謝

千葉大学1978年卒業
(医局:筑波大学腎臓内科)

医学博士、日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医



泌尿器科
(水・木曜日午後)
ねぎし たけはる
根岸 壮治

専門分野 泌尿器科一般

東京医科歯科大学1960年卒業
(医局:東京医科歯科大学泌尿器科)

医学博士、日本泌尿器科学会専門医
(元春日部市立病院長)



小児科
(木曜日午前)
こう かつよし
康 勝好

専門分野 小児血液腫瘍学

東京大学1992年卒業
(医局:東京大学小児科)



小児科
(第1・2・3・5木曜日午後)
あかぎ みちお
赤木 美智男

専門分野 小児循環器病学

東京大学1979年卒業
(医局:杏林大学小児科)

医学博士、杏林大学医学教育学教授、日本小児科学会小児科専門医



小児科
(第4木曜日午後)
あわ しょういち
阿波 彰一

専門分野 小児循環器病学、
システム生理学

東京大学1961年卒業

医学博士、日本小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授



眼科
(火曜日午前)
おんぐうち たつや
御宮知 達也

専門分野 眼科一般、角膜

秋田大学医学部1999年卒業



眼科
(水曜日午前)
いけだ あやこ
池田 彩子

専門分野 眼科一般

岡山大学2002年卒業
(医局:慶応大学眼科)



眼科
(11月より木曜日午前)
おおひら あや
大平 文

専門分野 眼科一般

慶応義塾大学1995年卒業
(医局:慶応義塾大学眼科)



眼科
(土曜日午前)
よし い まさる
吉井 大

専門分野 眼科一般、視覚電気生理
涙道外科

防衛医科大学校1982年卒業

日本眼科学会専門医



耳鼻科(新任)
(火曜日午前・午後)
もり えり
森 恵莉

専門分野 耳鼻科一般

筑波大学2003年卒業
(医局:慈恵医大耳鼻科)



耳鼻科
(水・木曜日午前・午後)
ひさまつ ゆうし
久松 雄志

専門分野 耳鼻科一般

獨協医科大学1992年卒業

医学博士、日本耳鼻咽喉科学会専門医、
日本医師会認定産業医



耳鼻科(新任)
(第1・3・5土曜日午前・午後)
なかやま つぐひさ
中山 次久

専門分野 耳鼻科一般

東京慈恵会医科大学2002年卒業
(医局:慈恵医大耳鼻科)



耳鼻科(新任)
(第2・4土曜日午前・午後)
いの たかし
飯野 孝

専門分野 耳鼻咽喉科

東京慈恵会医科大学1996年卒業
(医局:慈恵医大耳鼻科)

日本耳鼻咽喉科専門医

新人医師紹介



産婦人科医師
水野 嘉朗

10月からキッコマン総合病院産婦人科に赴任いたしました。長い伝統のあるキッコマン病院に勤務する機会を得まして、たいへん光栄に思っています。

これまで、東京大学付属病院、焼津市立総合病院、長野赤十字病院などを経て、9月まで国立霞ヶ浦病院で勤務していました。これまで暮らしていた土浦の町は、霞ヶ浦の湖と筑波山に接した、のんびりとした田舎町でしたので、野田市に引越して、人とクルマの多さに戸惑いつつ、都会にきたということを実感しています。

新たにキッコマン総合病院での勤務が始まり、まだ不慣れなことも多くありますが、それぞれのスタッフが明るく、やる気をみなぎらせて患者の方々に接している姿を見て、自分も患者の方々のご期待に応えられるように努力したいと思いました。産婦人科部長川口武宏先生のご指導のもと、全力で診療に取り組み決意です。よろしくようお願い申し上げます。

VOICE

ひろば 声の宅急便

ギターと私

検査科
染谷 俊行

ギターファンタジー
時には爽やかなそよ風のように
軽い音色で
またある時には魂をゆさぶる
情熱的な響きで
私たちを魅了する楽器 ギター
指先でふるわせたい細い弦から
つむぎだされる
そのメロディーは
あまく深く心に沁みこんでいきます

ギターの歴史は15世紀に、ルネッサンスギターが用いられた宮廷音楽として楽しまれていました。バロック期16から17世紀にはヨーロッパで流行し、ロマン派(19世紀)から現代に至っています。

一口に、ギターといってもギター製作家により、それぞれ楽器としての個性があり量産のギターから最高級手工品、果ては古楽器や銘器にいたるまで様々なギターがあります。ギターは人間の内面的感情を表現するための、またとない能力を備えた楽

器であり、品格と芸術性に富むかわら、誰にでも親しめる大衆性をも兼ね備えている楽器でもあります。

ギター演奏家としては、ナルシソ・イエペス、アンドレアス・セゴビアはクラシックギターの歴史を築き上げた演奏家であり、この2人なしには今日のギター界は語れません。ギターの魅力、その形は女性を表しているといわれています。容姿の美しさや、気品は愛好家の目をひきつけてやみません。また、その音色は甘いシャープな芯がある・ソフトなど様々な表現をもつて説明されます。

ギターと私…ナルシソ・イエペスの奏でる「禁じられた遊び」を初めて聞いたときの感動は今も忘れられません。見よう見まねで覚えたギターです、長年自己流で楽しんでいましたが数年前より先生についてレッスンを受けています。(現在は休学中)



ギターコレクション

村田医師異動のお知らせ

誠に残念ですが、平成16年11月から非常勤として土曜日のみ診察となりました。今までに病院に来ていただいた患者様方には多大なご迷惑をかけることになり、心よりお詫び申しあげます。土曜日の短い時間内でも精一杯診察させて頂きますので今後もよろしくお願い致します。



ギターレッスン(右側染谷さん)

ギターの師、椎谷幸彦氏はアントニオ古賀二門の音楽家として活躍しています。また、ギタリストとしても豊かな音楽性と包容力あふれる演奏スタイルを持ったギタリストで、多くのファンから指示されています。私も師から難易度の高い課題曲を頂き、作品(歌)として仕上げたときの満足感は何ともいえません。



栄養科紹介

管理栄養士
小堀 麻由子

*写真手前

栄養科では、入院中の患者さんのお食事を担当しています。

皆さんは、病院食といふことどのようなイメージをお持ちでしょうか？

「味が薄い」「冷たい」などあまり良くないイメージをお持ちの方もいらっしゃるかと思います。

当院では、患者さんに少しでも満足していただけるようスタッフ一同(管理栄養士11名、栄養士3名、調理師4名、調理員8名)日々心を込めた食事サービスに取り組んでいます。

まず、味付けに関しては、「減塩＝薄味」ではなく「減塩しながらでも旨みや酸味などで味付けはしっかりと」と考えています。また、「冷たいものは、冷たく」「温かいものは、温かく」ということを考え、冷温蔵配膳車にてお食事を病棟までお届けしています。

食事は、見た目によっても満足感が変わってくるため、盛り付け方や色づりにも気をつけるようにしています。そして、器は陶磁器を使用し、料理によつて和食

器や洋食器など使い分けています。また、入院中でも季節感を味わっていただけるように24節氣に合わせて松花堂弁当を、クリスマスやお正月などの行事の際には、その行事に合わせたお食事を提供しています。その他、月に一度「お茶とお菓子」を、入院中にお誕生日を迎えられた方には「ケーキとカード」を、出産で入院された方には「お祝膳とワイン」をお届けしています。

毎日の食事では選択メニューを実施し、2種類からお好みのほうを選んでいただいたり、栄養士が病室を訪問し嗜好調査を行うなど、出来る範囲ではあります。個人の嗜好に合わせた食事の対応を考えています。

生きていくうえで食べることは必須です。食事療法(制限)が必要だからといって、食べる楽しみがなくなってしまうような、限られた範囲の中でも「おいしい」と満足してもらえるお食事を提供していきたいと思っています。



編集後記

平成17年が始まりました。新しい年が始まる度、「平成も、もう～年か」と月日の過ぎる速さを感じてしまいますが、もう平成元年度生まれの方が、小児科外来から内科外来を受診する様になる年です。

同時に今年は昭和80年、大正生まれの方はほぼ皆さん80歳以上のご老人(失礼)となるわけです。外来、入院患者さんにも数多くの方がおられ、高齢化社会を身をもって感じています。

今年は戦後60年=還暦という事で、メディアなどでも戦後の日本を見直すといった動きが盛んになるのではないのでしょうか。安全、信頼といったものが日本社会全体で揺らいできていますが、残念ながらこれは皆さんの医療界を見る目にも当てはまりそうです。

当院は、メディカルニュースやアンケート等を通じて、地域の皆様にかかれた信頼足りうる病院である様努めていきたいと考えています。今年度も宜しく願い申し上げます。

内科 清水

平成16年度

クリスマス会



MERRY CHRISTMAS



発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

TEL 04-7123-5911 FAX 04-7123-5920

ホームページアドレス <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>
メールアドレス hospital@mail.kikkoman.co.jp